平成31年２月１日　第145号

なんぽろ議会だより

外で元気いっぱい雪遊び　～いちい保育園園庭にて～

第4回定例会

12月11日～12日

一般会計補正予算
被災農業者支援に5,700万円を追加

12月定例会は12月11日に開会し、４名の議員が７項目について一般質問を行いました。

その後、功労表彰、条例制定、各会計補正予算、指定管理者の指定など21件を審議し、いずれも原案のとおり同意 可決し12日に閉会しました。

功労表彰

岡山（おかやま）　敏幸（としゆき）さん（8区）
内田（うちだ）　一之（かずゆき）さん（15区）
田中（たなか）　玲子（れいこ）さん（6区）

条例制定等

○南幌町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例（改正）
○常勤特別職の職員の給与等に関する条例（改正）
期末手当の支給率を変更するため。

○職員の給与に関する条例（改正）
人事院勧告による国家公務員の給与改定のため。

平成30年度補正予算

○一般会計補正予算（第4号）
歳入では、主に歳出補正の各事業に係る道補助金、南幌工業団地用地売払い収入、姉妹町多良木町からの災害見舞金の追加。
歳出では、主に人事院勧告を鑑みて行われる給与等の改定、あったか灯油支給事業費、経営体育成支援事業費の追加によるものです。

質疑

議員　あったか灯油について、受付方法が対面式とあるが、受付に本人が出向くことができない場合の対応は。
保健福祉課長　職員の訪問により対応する予定ですが、家族の場合でも証明できれば対応したいと考えています。

○下水道事業特別会計補正予算（第2号）
歳入では、主に一般会計繰入金の減額、繰越金の追加。
歳出では、主に人事院勧告を鑑みて行われる給与等の改定、修繕料の追加によるものです。

○介護保険特別会計補正予算（第2号）
歳入では、主に介護保険システム改修に係る事業費確定による国庫補助金等の追加。
歳出では、主に保険給付費の追加によるものです。

○病院事業会計補正予算（第1号）
歳出で主に人事院勧告を鑑みて行われる給与等の改定、新規採用医療技術員等の給与、出張医師等賃金の追加によるものです。

契約関係

○工事請負契約（変更）
契約目的　役場庁舎非常用発電機設置工事
契約金額　7,067万5,200円
契約先　鳥山電気工事㈱南幌営業所

人事案件

○情報公開審査会委員及び個人情報保護審査会委員の委嘱
金子（かねこ）　隆文（たかふみ）さん（14区）
門田（もんでん）　雅彦（まさひこ）さん（稲穂）
中鉢須美子（なかはちすみこ）さん（中樹林）
白倉（しらくら）　将繁（まさしげ）さん（9区）
山崎（やまざき）　博（ひろし）さん（札幌市）

○人権擁護委員の推薦
段坂（だんざか）　正登士（まさとし）さん（6区）

その他

○指定管理者の指定
南幌町コミュニティセンター、南幌町地域福祉施設、南幌町地区集落センター、南幌町農産施設、南幌町農産物加工施設、運動施設の一部について指定期間満了に伴い、新たに指定管理者を指定するものです。

○道央廃棄物処理組合規約の変更

請願書

次の請願書について、産業経済常任委員会に付託し、閉会中に審査することとなりました。

○南幌町に道の駅を整備することを求める請願
・請願者
まちづくりを考える有志の会　会長　峰尾　義明
・紹介議員
川幡　宗宏議員

町政を知る良い機会

議会を傍聴しませんか!

第1回定例会は3月開催です。

※本会議の議事録は、役場、あいくる、ふれあい館の情報コーナー、ぼろろ図書室並びにホームページでご覧になれます。

一般質問

問 みどり野きた住まいるヴィレッジの今後は

答 継続的に展開し、さらなる販売につなげたい

川幡　宗宏　議員

川幡議員

みどり野きた住まいるヴィレッジの現在までの販売経過について、町としてどのように受け止め、次年度以降どのような誘致施策につなげるのか。

見学会には2，616人が訪れ、モデル住宅の見学等をした中で、モデル住宅を1戸も販売できなかったことは南幌町に住むメリットが求めやすい価格帯と新たな子育て世代誘致施策を打ち出し、誘致することを進めるべきでは。

町　長

モデル住宅の5棟については現在のところ販売に至っていませんが、みどり野きた住まいるヴィレッジの効果として、美園地区10区画が町外の子育て世代へ分譲されました。

次年度以降新たに建築する住宅については、仕様の変更などにより求めやすい価格帯を設定する方法で検討し、既存のモデル住宅と併せて継続的に事業を展開し、各住宅事業者が提案する住宅をできるだけ多くの方に見ていただくことによって、さらなるみどり野団地の販売につなげたいと考えます。

また、近隣で企業の進出やボールパーク構想が持ち上がったことから、南幌町は30分以内の通勤圏となり、ぜひ我が町に住んでいただくような情報発信が重要な要素だと思っています。

問 若者世帯への賃貸住宅支援を

答 町民のために一番よい方法を探る

佐藤　妙子　議員

佐藤議員

子育て世帯及び若者世帯の定住が望まれている中で、子供と共に安心して生活できる住環境整備が必要とされています。そのため本町では子育て世代に対する住宅建築費助成事業に取り組んでいます。しかし、子育て世帯でも賃貸住宅を希望する方もいるため、賃貸住宅世帯にも支援策が必要と考えます。

また、最近では賃貸住宅が不足している地域では建設事業者や個人オーナーに自治体が建設補助金制度を設けて建設し、人口増加を図っている事例もあります。

今後は民間事業者との連携も視野に入れた需要の拡大も図るべきと考え、2点伺います。

①若者世帯への賃貸住宅家賃助成の導入について、検討結果と今後の展開は。

②建築事業者に対する賃貸住宅建設費を補助する考えは。

町　長

①南幌町住生活基本計画策定時に検討しましたが、現在子育て世代住宅建築助成事業を進めていることから、事業効果を把握し、賃貸住宅居住希望者等について調査を行い、検討していきます。

②現在町内には、民間賃貸住宅197戸、町営住宅108戸、道営住宅60戸があり、空室は41戸となっています。新たな建設も進んでおり、不足している状況ではないことから、補助の考えはありません。

その他の質問

☜ **問**　自主防災組織の推進

今回の震災経験を通し、住民で支えあう自主防災組織の関心が高まっているが、2点伺います。

①意識の向上をどのように図るか。

②マニュアル作成の考えは。

町　長

①行政区、町内会での研修、防災フェスタ、住民自治検討会を通じて行います。

②消防庁の手引き、避難所運営マニュアルなどの活用で対応します。

問 非正規職員の処遇改善を
答 制度に沿った任用条件の整備を行う

熊木　恵子　議員

熊木議員

本町の臨時・嘱託職員は役場や町立病院等で39名となっています。特に嘱託職員については、正規職員とほぼ同じ業務に就いている事例が多く、住民の命と暮らしを支える恒常的な業務は、地方公務員法の原則どおり正規職員にすべきと考えます。

平成32年から導入される地方自治体の非正規職員に関する新制度の会計年度任用職員では、処遇改善がされると聞いています。臨時・嘱託職員の処遇改善が図られることにより、働く意欲がさらに向上し、納税や地域での購買など地域活性化に大きく結びつくことにもつながると考えます。そこで2点伺います。

①賃金格差や処遇についてどのような改善を検討しているか。

②平成32年度から導入される制度を待たずに、看護助手や看護補助者など長年勤務している場合の賃金体系の見直しや、専門職である嘱託職員の待遇を改善すべきでは。

町　長

①給付に関しては、新地方公務員法に規定する職務給の原則、均衡の原則などに基づき、また服務に関する規定の適用や、勤務時間及び休暇、社会保険等についても制度に沿った任用条件の整備を行います。

②平成32年4月の法施行日にあわせて行います。

その他の質問

☜**問** 地域おこし協力隊員の増員

本年10月より1名の観光掘りおこし隊員が、本町に移住して暮らしを体験しながら新しい感覚で活動していますが、次年度の募集や採用についての考えは。

町　長

定住・定着を見据えた上で、地域においてどのような分野で活動するかを明確にする必要があり、受け入れ後のサポート体制とあわせて検討していきます。

菅原　文子　議員

菅原議員

南幌町中期財政推計が作成され、本年度から5年間の主な投資的事業と事業費が示されました。

問 将来に向けた財政運営は
答 国の制度を活用していく

また、平成34年度末の財政調整基金残高は3億5,400万円となり、今後は長幌第2浄水場と道央廃棄物ごみ焼却施設の事業費負担金も計上される見込みとなっています。10～20年後には労働人口の減少に伴い町税も減ってきます。

投資的事業費の増、人口減少により将来負担率も上がりますが、本町ではまちづくりに対する検討委員会を立ち上げ、本町の発展を願う住民の団体も出てきています。

浄水場の改築、国直轄で進めている道央圏連絡道路の整備、ボールパーク構想、札幌市を中心とした連携中枢都市圏に入るなど、本町を取り巻く環境はよい方に変わってきている今、町長としてどのように本町の財政運営を進めていくのか伺います。

町　長

できるだけ住民の不安をなくしながら、次の世代へよい形でつなげる町政運営をしていかなければなりません。財政が厳しいですが、国の制度などをうまく活用しながら、新しい事業も取り入れ、見直すものは見直しながら持続可能な財政運営に努めます。

その他の質問

☜**問** 台風や地震への防災対策

複数の災害が重なり、道路や橋が寸断された場合などを想定し避難経路の再確認と、冬の災害に備えた宿泊訓練を行う考えは。

町　長

道路、橋梁の状況は職員が点検しています。宿泊避難訓練は先進地の事例等を参考に検討します。

全員協議会

10月17日

2点の説明・報告がありました。

①台風21号の被害による農業者への緊急支援策として、農業施設・機械、ビニールハウス等の修繕への助成を農業協同組合と共同で行います。

（産業振興課）

②高齢者、障がい者等への「除雪サービス事業」の継続を図るため一部負担を見直し実施します。

（保健福祉課）

11月26日

6点の説明・報告がありました。

①灯油価格の高騰による高齢者等の負担軽減のため、一定要件により「あったか灯油支給事業」として一万円を支給します。

（保健福祉課）

②町立病院改革プランの29年度の実施状況に関する点検・評価を行いました。

（町立病院）

③南幌工業団地の分譲用地の一部を北海道農販㈱に売却しました。

（まちづくり課）

④（仮称）さっぽろ連携中枢都市圏のビジョン（案）が今後示され、連携事業などについて札幌市によりパブリックコメントを行い、4月からの事業実施に向けて取り組みます。

（まちづくり課）

⑤元姉妹町の京都府京北町（現京都市右京区京北）に所有する山林（通称・南幌の山）を京北森林組合に売却処分します。

（総務課）

⑥今後5年間の投資的経費を見込み「南幌町中期財政推計」を作成しました。

（総務課）

委員会活動

まち活性化特別委員会

12月4日

①各委員会、一部事務組合からそれぞれ活動内容について報告されました。

②南幌高校の跡利用を含め教育施設としての存続の要望に関する意見書の取り扱いについて、今後、町との連携で取り進めることを確認しました。

③議会報告懇談会を2月23日、24日に開催することで取り進めます。

12月20日

議会報告懇談会の日程を2月23日に緑町コミュニティセンター、2月24日にビューローで開催することを確認しました。

1月16日

議会報告懇談会の進行について協議しました。

総務常任委員会

11月26日

○南幌高校について

○町立病院について

12月4日

○町立病院について

12月25日

○町立病院について

1月16日

○議会報告懇談会報告について

産業経済常任委員会

11月7日

○空き地管理について

○道の駅構想について

12月20日

○道の駅にかかる請願について

○商工会補助金要望書について

議会運営委員会

12月4日

○定例会の運営について

総務・産業経済常任委員会町内現地調査

11月7日

総務・産業経済の両常任委員会は、役場庁舎非常用発電機設置工事、道央圏連絡道路の進捗状況並びに台風21号による南17線の防風林の倒木、リバーサイド公園野球場等の被害状況の現地調査を行いました。

一部事務組合の紹介

長幌上水道企業団

町民の皆さんに安全な生活用水を供給している「長幌上水道企業団」は、昭和41年に南幌・長沼両町の協議により、共同で水道事業を進めることが事業費の削減、水道料金の低減化、施設の効率的な運営、将来の維持管理などが図られ有益であるとの結論のもと、当初「長幌上水道組合」として設立された一部事務組合で、50年以上の長きにわたり安定した経営を続け今日に至っています。

企業団の経営には、予算・決算とも南幌・長沼両町議会より５人づつ計10人の議員で構成された企業団議会において慎重に審議されています。

近年は、人口減少による給水人口の減、水道管の老朽化、第２浄水場の改築など重要な課題があり、慎重かつ丁寧な議論を行い、両町住民の重要なライフラインの一つである上水道の健全な維持に努めています。

賛否の公表

議員の活動に対して町民の評価が的確になされるよう情報の提供に努めるため、議案などに対する各議員の態度を公表します。

平成30年第４回議会定例会

功労表彰、条例制定、各会計補正予算、指定管理者の指定など21議案について、議長を除く10名全ての議員が賛成しました。

※議長は採決に加わっていません。

議会報告懇談会を開催します

町議会では、日頃の議会活動を報告し、町民の皆さんと懇談の機会を設け、今後の議会活動に反映していくため、議会報告懇談会を開催します。

日　程

- **２月23日（土）　緑町コミュニティセンター　　午後２時から開催**
- **２月24日（日）　ビューロー　　午後２時から開催**

視察対応状況　南幌町の取り組みが注目されています

平成30年は、全国の７議会から南幌町の先進的な取り組みについて視察依頼があり、議会、理事者、担当職員で対応していますので概要をお知らせします。このことは、本町の各施策が注目されているあらわれであり、今後とも積極的に視察を受け入れ情報発信を行っていきます。

議会名	日時	視察内容	来町人数	議会対応者	町対応者
宮城県七ヶ宿町	６月26日	子育て世代住宅建築助成事業の取り組みについて	議員８名 職員２名	議長 産業経済常任委員長	副町長 まちづくり課
熊本県多良木町	６月27日	懇談・意見交換	議員６名	議長・副議長 総務常任委員 産業経済常任委員	町長
山形県三川町	８月３日	子育て世代住宅建築助成事業の取り組みについて	議員９名 職員１名	副議長 産業経済常任委員長	町長 まちづくり課
興部町	10月２日	稲わらペレットを利用した地域循環システムについて	議員９名 職員２名	議長 産業経済常任委員長	町長 まちづくり課
置戸町	10月23日	子育て世代住宅建築費助成金について 空き家・空き地バンクについて 移住体験事業について	議員10名 職員１名	副議長 産業経済常任委員長	町長 まちづくり課
三重県川越町	10月24日	子育て支援事業について	議員12名 職員３名	副議長 総務常任委員長	町長 保健福祉課
静岡県長泉町	10月29日	パークゴルフ場の管理・運営について	議員５名	議長 産業経済常任委員長	副町長 都市整備課

議員会議出席状況（平成30年１月～12月）

	定例会・臨時会					委員会	開催内訳					
							総務	9	決算審査	3		
							産業経済	10	まち活性化特別	10		
							議会運営	5	全員協議会	6		
							広報特別	11				
							予算審査	3				
	開催日数	出席日数計	欠席	出席内容		開催日数	出席日数計	欠席内容		出席内容		
				遅刻	早退			公用	その他	遅刻	早退	その他
本間　秀正	11	10	1			31	29		2			
川幡　宗宏	11	11				29	28		1			
原田　弘克	11	11				42	42					
志賀浦　学	11	11				36	36					
内田　惠子	11	11				43	42		1			
西股　裕司	11	11				43	43					
佐藤　妙子	11	11				48	48					
菅原　文子	11	11				36	36					
石川　康弘	11	11				37	37					
熊木　惠子	11	11				36	36					
側瀬　敏彦	11	11				6	6					

※委員会については、議員の所属する委員会がそれぞれ違うことから開催日数が異なります。
※同日に複数の委員会開催の場合、出欠内容ともにそれぞれ１日としています。

私のまち ひと しごと

議会だより表紙の方を紹介します。

子育て支援担当責任者　遠藤沙織　さん

子育て支援センター（以下、センター）は、乳幼児のお子さんをお持ちのお母さんたちを地域全体で支援していく目的でつくられた施設です。南幌いちい保育園に併設されています。ここでは親子で専任の保育士と一緒に楽しい遊びができます。

開催日は毎週月曜日から金曜日で午前は8時30分から11時30分、午後は3時30分から午後5時30分で保育園の園庭も開放しています。

センターに４年前配属された遠藤沙織さんは、小１から南幌に住む南幌っ子。幼いころ幼稚園の先生に憧れてこの職業を選びました。

支援センターでは毎日遊びのスケジュールを子供の年齢や行事に応じて工夫しています。時にはお子さんを保育士さんに見てもらい、お母さんたちがおしゃべりしながら、カレンダーなど手づくり作業をし、リフレッシュできる時間も設けています。

遠藤さんは「引っ越しなどで最初は不安そうに来られるお母さんが、ほかのお母さん仲間と仲よくなり、次からは笑顔で来てくれるようになると、とても嬉しいです。子育ての不安や、孤独を少しでも解消できて母親同士のコミュニケーションが進められるように橋渡しができれば。」と語ってくれました。

南幌の突き抜ける青空の下、真っ白な雪山でそり滑りをして歓声を上げる親子と安全を見守る支援センタースタッフの皆さんの姿を拝見し、本当の子育ては、「地域と人の温かさと自然を取り巻くよい環境が次の時代をつくる子供たちを育てるもの」と痛感しました。子育ての町南幌でより多くの子育て世代の方たちに来ていただき、安心して住み育っていただきたいと願っています。

S　T

編集後記

２０１９年の干支はイノシシだけに、猪突猛進で進みたいところですが、グッとこらえて平常心でいることで落とし穴を回避し、もっと良いことがあるかもしれません。

今年のヒット商品のキーワードは、元号の変更、消費税増税など関連する商品がフィーバーするのではと予想されています。どのような商品が出てくるのか楽しみです。

私たちの任期も残りわずかとなりました。議会では、今月「議会報告懇談会」を開催します。皆さまのご出席をお待ちしています。ご意見等お聞かせ下さい。

N
H

なんぽろ議会だより
平成31年２月１日　第145号
〒069-0292
空知郡南幌町栄町３丁目２番１号
TEL011-378-2121
発行／南幌町議会
編集／議会広報特別委員会
印刷／山東印刷（株）